



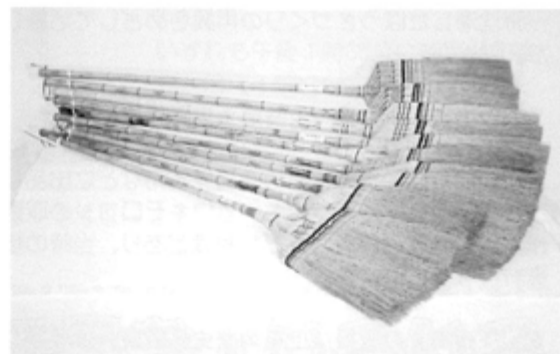
2012年10月30日

資料館通信 第65号

ふじみ野市立 上福岡歴史民俗資料館 埼玉県ふじみ野市長宮1-2-11 TEL 049-261-6065
大井郷土資料館 埼玉県ふじみ野市大井中央2-19-5 TEL 049-263-3111



昭和30年代 天日で乾燥させているほうき
(写真提供 山崎政一氏)



永倉一男氏(市内在住)作 長柄の座敷ほうき

平成24年度 大井郷土資料館 特別展

ほうきの文化—ふじみ野編—

会期 10月30日(火)～12月23日(日)

掃除用具としてなじみのある「ほうき」は、戦前から埼玉県の特産品として有名でした。ふじみ野市におけるほうきづくりは、江戸時代後期に起源があるとされていますが、明治時代以降農閑期の仕事として盛んに行われ、多くの職人が技をみがいでいました。

昭和30年代頃まで、夏には市内のあちこちで材料となるホウキモロコシ畑が広がり、たくさんのほうき職人が活躍していました。しかし、高度経済成長期以降、生活様式の変化や材料の不足など様々な要因で、全国的にみてもほうきづくりは減少し、現在では職人の数もごくわずかとなりました。

平成4年に上福岡歴史民俗資料館で、第9回特別展「ほうきの文化—序章—」を開催しています。あれから20年たち、ほうきづくりの職人はさらに減ってしまいましたが、その一方で、ほうきの生産・製造に関する新たな資料も見つかっています。

近年、職人の技が光る伝統産業として、また人にも環境にもやさしい掃除用具として「ほうき」が注目されています。あらためて、主要産業だった「座敷ほうき」の存在とほうきづくりの変遷を知っていただきたく、特別展を開催いたします。

- 会場：大井郷土資料館 1階学習室及び常設展示室
- 入館料：無料
- 開館時間：午前9時30分～午後4時30分
- 休館日：毎週月曜日

大井郷土資料館

大井郷土資料館 特別展 「ほうきの文化—ふじみ野編—」 資料紹介

1. 玉井利昌家文書・資料（大井郷土資料館蔵）

川越街道沿いでほうき製造・販売を行っていた玉井家には、昭和初期から昭和20年代にかけてのほうき製造・販売に関する文書資料が多く残っていました。特にほうきや原材料の注文依頼のはがきや手紙が多く、県内だけでなく、東京・千葉・茨城・群馬・神奈川・名古屋・大阪・仙台・熊本の商店とつながりを持っていたことがわかります。

また、昭和20年代の埼玉県座敷箒組合に関する資料もあり、戦時中一時沈滞したほうきづくりの再興をめざして活動していた様子が見えます。



ほうきの掛け袋
(玉井家資料)

2. 山崎政一家文書（大井郷土資料館蔵）

市内鶴ヶ岡でほうきづくりを行っていた家で、昭和20年代後半から30年代にかけて、埼玉県の商品見本市などに出品した際の資料がのこされていました。なかでも、ホウキモロコシの収穫、ほうきづくり、作業場などを写した写真が12枚ほどあり、当時の様子がわかる貴重な資料となっています。

3. 「商魂」の看板（上福岡歴史民俗資料館蔵）

昭和39(1964)年、当時上福岡駅近くでほうきづくりをしていた近藤参平氏に、埼玉県座敷箒組合連合会福岡支部が贈った長さ2mほどある大きな木の看板です。これまで、ほうき職人は組合の名簿により確認できていましたが、これはほうき職人同士の連帯感を示す貴重な資料といえます。



「商魂」の
看板

4. 永倉一男氏提供 座敷ほうきほか

市内在住で、現役のほうき職人として活躍している永倉一男氏から、今回の特別展のためにご本人が製作した長柄ほうき・手ほうき、その他ほうき関係資料を提供していただきました。

全国各地で実演の依頼がくるほどお忙しい中でも、合間をぬって調査にも快く応じていただき、昔と今のほうきづくりについていろいろなお話をしてくださいました。

また、父親で親方でもある正三氏が、「上福岡市（現 ふじみ野市）七夕まつり」において座敷ほうきの製造実演販売を行った際に掲げた横断幕も提供いただきました。こちらも今回の特別展で展示いたします。



手ほうき 針金巻
(永倉一男氏 作)

平成24年度特別展「ほうきの文化－ふじみ野編－」
関連事業のご案内

座敷ほうきづくりの実演

日時 12月1日(土) 午後1時30分～
実演講師 永倉一男氏(市内在住のほうき職人)
会場 大井郷土資料館 研修室
定員 50人(当日受付)
参加費 無料

特別展展示解説と

ビデオ「大井町の箒職人」上映

日時 11月11日(日)・21日(水)、
12月9日(日)・19日(水)・
23日(日)
いずれも午後1時30分に特別展示会
場入口(1階ロビー)にお集まりく
ださい。(当日受付)

参加費 無料

●問い合わせ先 大井郷土資料館 電話 049-263-3111

上福岡歴史民俗資料館企画展

ほうき・いろいろ

上福岡歴史民俗資料館でも、地元で活躍された職人の手作りほうきや、これまで収集してきた産地・用途・形態の違うさまざまな「ほうき」を紹介する企画展を同時開催します。常設展示室には、「手作りほうき」の展示コーナーがありますので、あわせてご覧ください。

企画展「ほうき・いろいろ」

会期 11月10日(土)～12月23日(日)
※毎週月曜日は休館
会場 上福岡歴史民俗資料館 2階ホール
開館時間 午前9時～午後4時30分
入館料 無料



関連事業

学習講座

「ほうきの歴史をさぐる
－ほうきの文化を後世に－」

日時 11月25日(日)
午後1時30分～
講師 高木文夫氏
(市文化財保護審議会委員)
会場 上福岡歴史民俗資料館
2階研修室
定員 50人
参加費 無料

●申込・問い合わせ先

上福岡歴史民俗資料館
電話 049-261-6065

上福岡歴史民俗資料館
常設展示室 ほうきコーナー

ふじみ野市の両資料館への資料の寄贈

平成23年11月から平成24年10月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。

市立上福岡歴史民俗資料館分

平成23年

- 11月22日 下駄・雪駄・ランプ
市内 後藤融美氏
- 11月22日 下駄
市内 中里美子氏
- 12月4日 戦時貯蓄債券・戦時報国債券
富士見市 尾崎村藏氏
- 12月6日 古文書・文書箱・出征のぼりほか
市内 粕谷正臣氏
- 12月21日 ミシン・文書・図書
市内 富田信男氏

平成24年

- 1月27日 訓練指導体系（昭和11年）
富士見市 町田三朗氏
- 2月11日 大杉神社の瓦・部材・石灯笼ほか
市内 大杉神社氏子会
- 3月22日 電気炊飯器
市内 白井ヨシエ氏
- 3月27日 着物・浴衣・帯ほか
市内 大月ふみ氏
- 5月13日 回漕問屋吉野屋土蔵の鬼瓦
新座市 吉野興一氏
- 6月29日 NHKラジオ受信料領収書ほか
市内 長谷裕子氏
- 7月1日・8月4日 玩具（ミニカー・軍艦ほか）
市内 島田 茂氏
- 7月24日 たらい・洗濯板
市内 佐々木孝一氏

市立大井郷土資料館分

平成23年

- 11月30日 女児長着・帯ほか
市内 水野美根子氏
- 11月30日 黒電話・ラジオ・カメラ
市内 安野孝義氏

平成24年

- 2月28日 社号エンブレム
市内 塩野賀一氏
- 6月20日 長着・帯等衣類ほか
市内 塙 理恵子氏
- 6月20日 中判カメラほか
板橋区 小室 登氏
- 7月12日 長着・草履ほか
市内 吉田園美氏
- 8月23日 ポラロイドカメラほか
市内 宮木民雄氏
- 8月28日 座敷ぼうきほか
市内 永倉一男氏
- 10月16日 カセットテープ
富士見市 小川一代氏
- 10月26日 ワードプロセッサーほか
市内 荻原光行氏

寄贈資料の紹介～新河岸川舟運に関する鬼瓦～

新河岸川舟運に係る建造物の「鬼瓦」を上福岡歴史民俗資料館で収集しました。

一つは福岡河岸で繁栄した回漕問屋「吉野屋」にのこる土蔵（国登録文化財・明治期の建築）の改修にともない、もう一つは福岡橋（新河岸川）のそばにある大杉神社（旧社殿は明治11年に建築）の移築・建て替えにともない、古い鬼瓦が寄贈されました。



回漕問屋旧吉野屋（福岡河岸）の鬼瓦。店の印を装飾している（現在、福岡河岸記念館で展示中）。



舟運関係者が建立した大杉神社の鬼瓦は「天狗のうちわ」。天狗は大杉神社の神の一つであり、船を守る神として信仰された。